

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GS 年金型投資戦略ファンド 積極プラン(年2回決算)／安定プラン(年2回決算)／安定プラン(毎月決算)」は、このたび、積極プラン(年2回決算)／安定プラン(年2回決算)につきましては、第3期の決算、安定プラン(毎月決算)につきましては、第8期～第13期の決算を行いました。本ファンドは、日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、積極プランでは信託財産の長期的な成長を、安定プランでは信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

積極プラン(年2回決算)

第3期末(2016年8月19日)		第3期	
基準価額	9,516円	騰落率	5.92%
純資産総額	4,416百万円	分配金合計	0円

安定プラン(年2回決算)

第3期末(2016年8月19日)		第3期	
基準価額	9,850円	騰落率	4.45%
純資産総額	2,249百万円	分配金合計	0円

安定プラン(毎月決算)

第13期末(2016年8月19日)		第8期～第13期	
基準価額	9,519円	騰落率	4.43%
純資産総額	2,852百万円	分配金合計	150円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンドラインナップ」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

GS 年金型投資戦略ファンド

積極プラン(年2回決算)

安定プラン(年2回決算)

安定プラン(毎月決算)

追加型投信／内外／資産複合

積極プラン(年2回決算)／
安定プラン(年2回決算)

第3期(決算日2016年8月19日)

安定プラン(毎月決算)

第8期(決算日2016年3月22日)

第9期(決算日2016年4月19日)

第10期(決算日2016年5月19日)

第11期(決算日2016年6月20日)

第12期(決算日2016年7月19日)

第13期(決算日2016年8月19日)

作成対象期間:2016年2月20日～2016年8月19日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

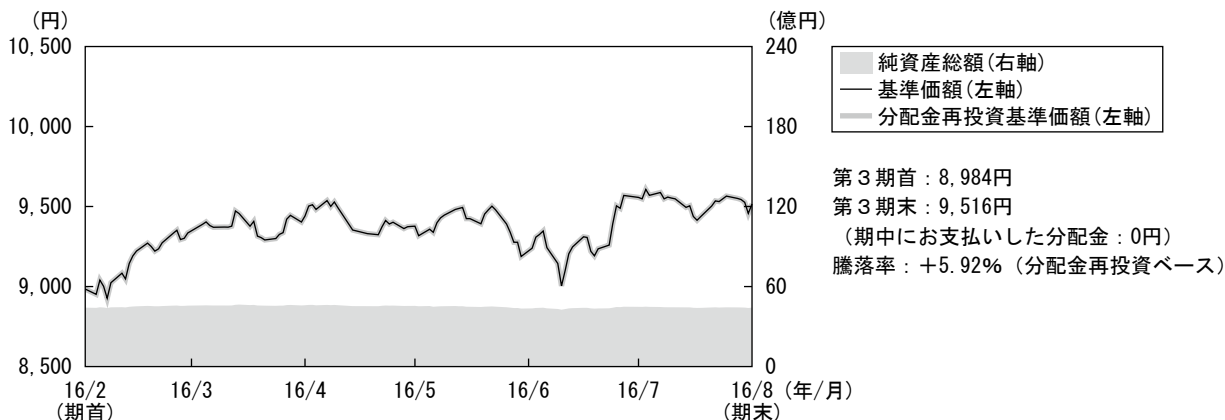
www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2016年2月20日～2016年8月19日）

○GS 年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）

（以下、「積極プラン（年2回決算）」といいます。）



（注1）積極プラン（年2回決算）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません（以下同じ）。

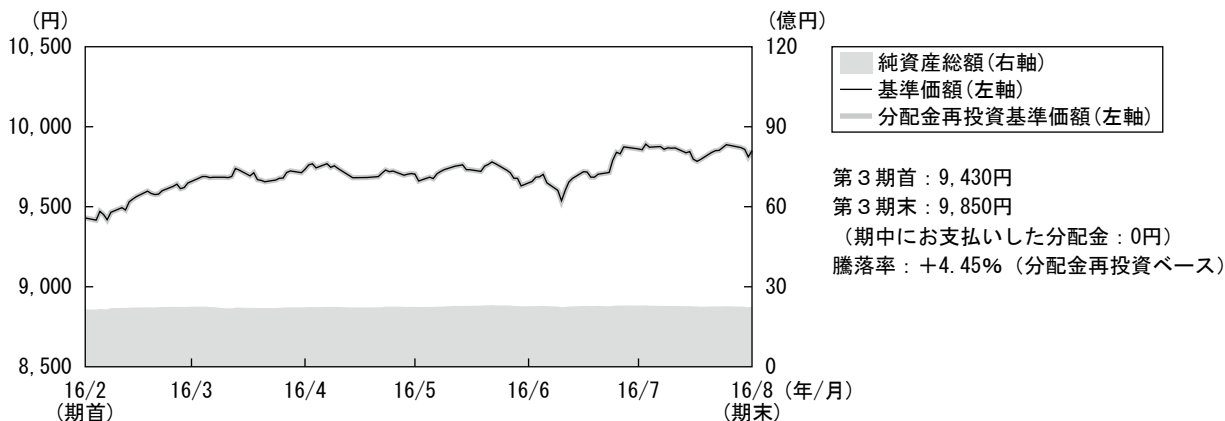
（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

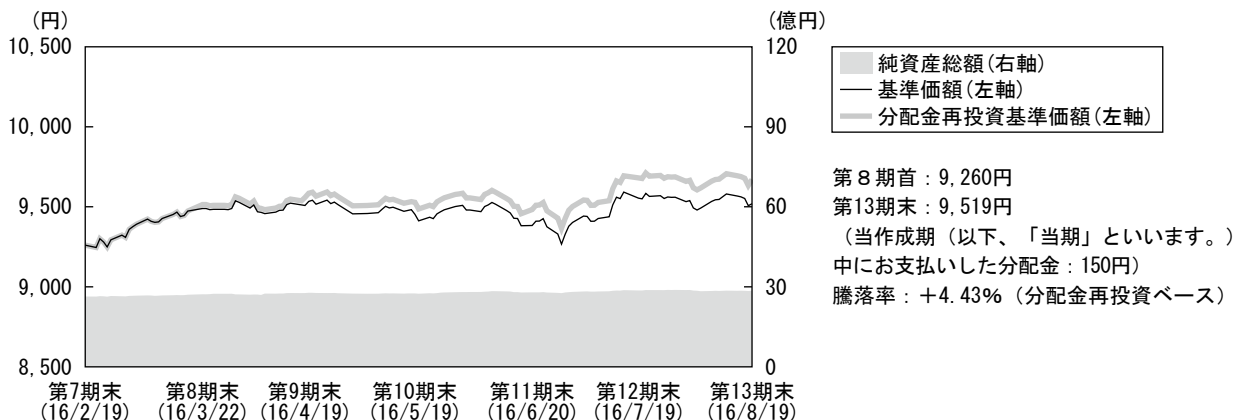
OGS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）

（以下、「安定プラン（年2回決算）」といいます。）



OGS 年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）

（以下、「安定プラン（毎月決算）」といいます。）



（注1）安定プラン（年2回決算）および安定プラン（毎月決算）の値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません（以下同じ）。

（注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注4）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- 積極プラン（年2回決算）の基準価額は、期首の8,984円から532円上昇し、期末には9,516円となりました。
- 安定プラン（年2回決算）の基準価額は、期首の9,430円から420円上昇し、期末には9,850円となりました。
- 安定プラン（毎月決算）の基準価額は、期首の9,260円から259円上昇し、期末には9,519円となりました。
(以下、3ファンドを総称して「本ファンド」といいます。)

○積極プラン（年2回決算）

上昇要因

先進国株式や新興国株式、新興国債券の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。

下落要因

外国為替市場で円高ドル安が進んだことなどが基準価額の下落要因となりました。

○安定プラン（年2回決算）

上昇要因

先進国債券や先進国株式、新興国債券の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。

下落要因

外国為替市場で円高ドル安が進んだことなどが基準価額の下落要因となりました。

○安定プラン（毎月決算）

上昇要因

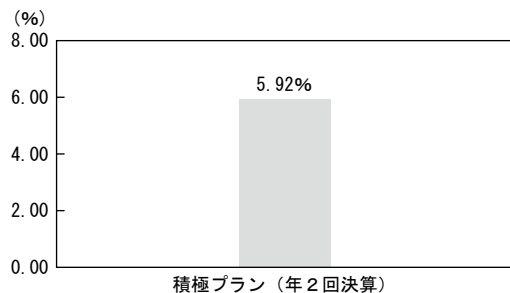
先進国債券や先進国株式、新興国債券の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。

下落要因

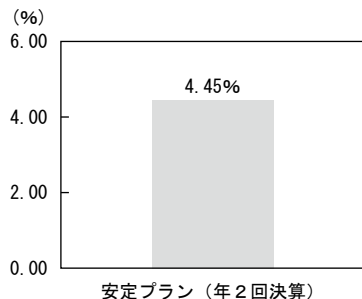
外国為替市場で円高ドル安が進んだことなどが基準価額の下落要因となりました。

■ 当期の基準価額の騰落率

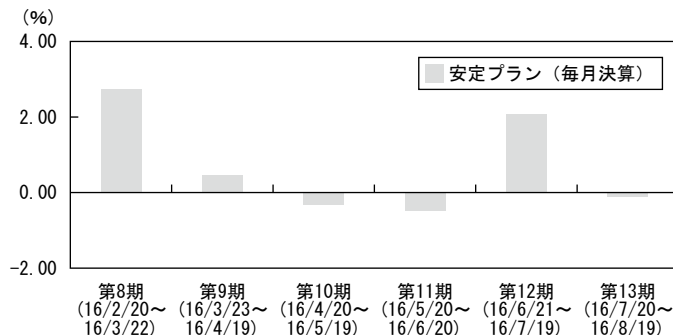
○ 積極プラン（年2回決算）



○ 安定プラン（年2回決算）



○ 安定プラン（毎月決算）



（注）各ファンドの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、積極プラン（年2回決算）は+5.92%、安定プラン（年2回決算）は+4.45%、安定プラン（毎月決算）は+4.43%となりました。

1 万口当たりの費用明細

○積極プラン（年2回決算）

項目	当期		項目の概要
	2016年2月20日～2016年8月19日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	72円 (35) (35) (1)	0.765% (0.376) (0.376) (0.013)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 （投資信託証券） （プライムブローカー）	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	3 (0) (0) (3)	0.034 (0.002) (0.002) (0.030)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	75	0.800	
期中の平均基準価額は9,381円です。			

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○安定プラン（年2回決算）

項目	当期		項目の概要
	2016年2月20日～2016年8月19日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	74円 (36)	0.765% (0.376)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(36)	(0.376)	
(受託会社)	(1)	(0.013)	
売買委託手数料 (投資信託証券) (プライムブローカー)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	3 (0) (0) (3)	0.034 (0.001) (0.004) (0.028)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	77	0.799	
期中の平均基準価額は9,708円です。			

○安定プラン（毎月決算）

項目	第 8 期～第13期		項目の概要
	2016年 2 月20日～2016年 8 月19日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	72円 (36)	0.765% (0.376)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（販売会社）	(36)	(0.376)	
（受託会社）	(1)	(0.013)	
売買委託手数料 （投資信託証券） （プライムブローカー）	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	4 (0) (0) (3)	0.040 (0.001) (0.004) (0.034)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	76	0.805	
期中の平均基準価額は9,469円です。			

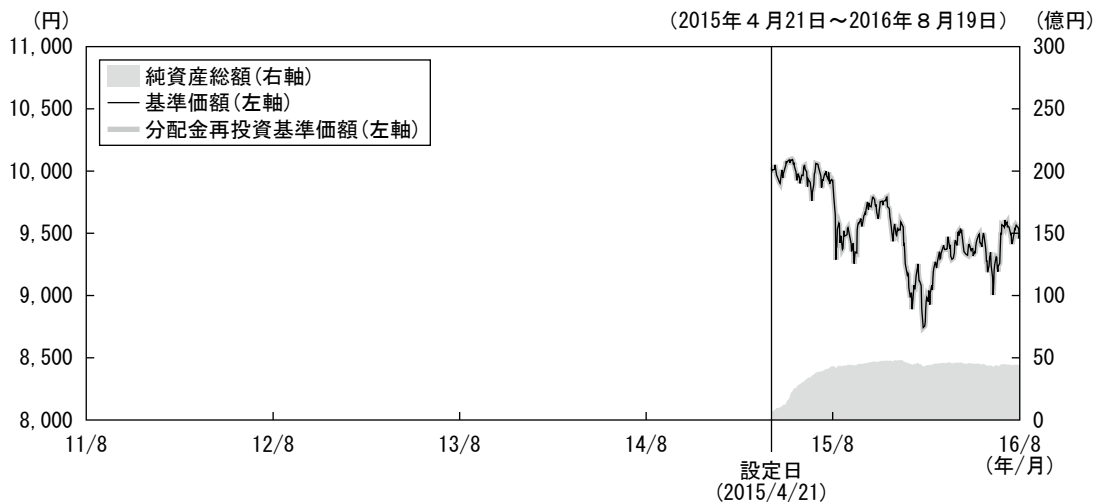
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

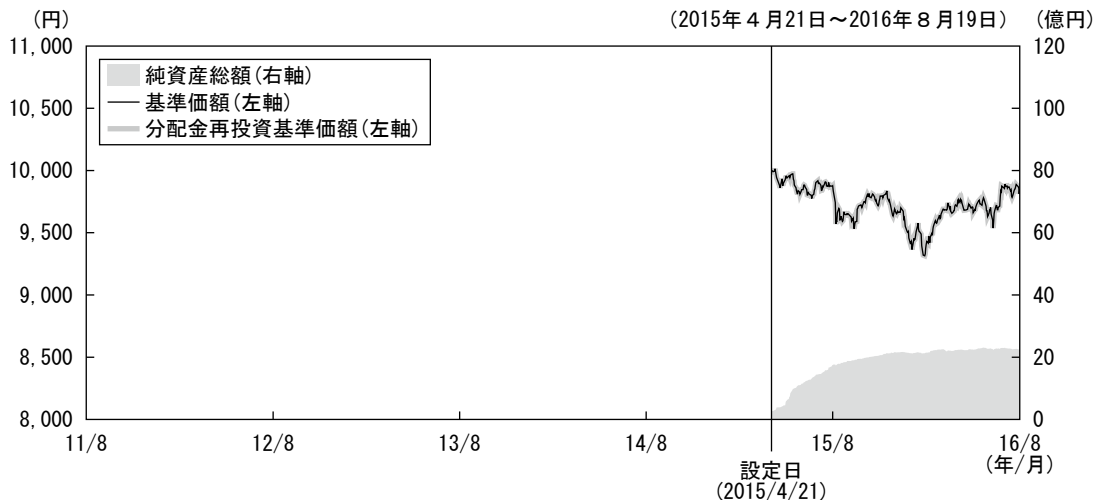
■ 最近 5 年間の基準価額等の推移について

○積極プラン（年 2 回決算）

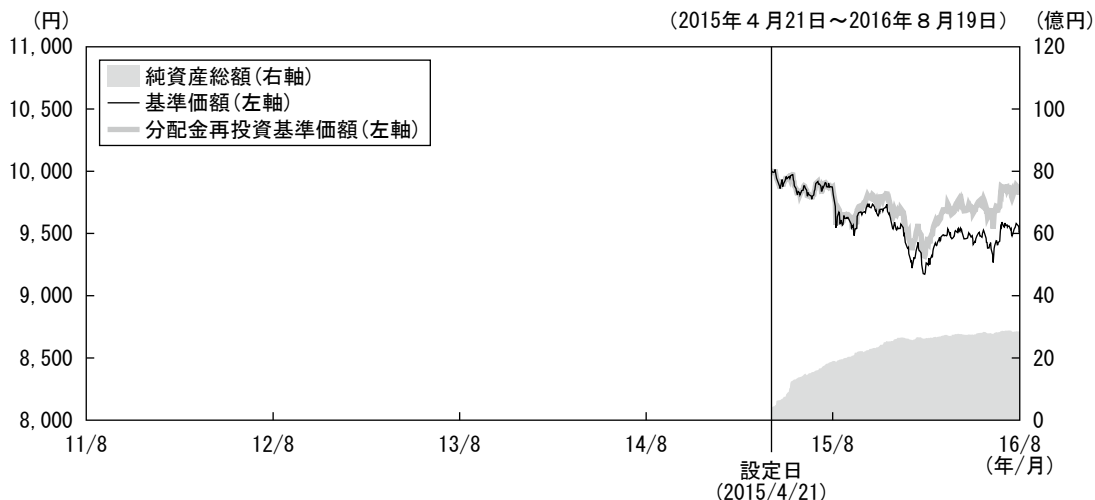


- (注 1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注 2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注 3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2015 年 4 月 21 日）の基準価額を起点として指数化しています。

○安定プラン（年2回決算）



○安定プラン（毎月決算）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2015年4月21日）の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○積極プラン（年2回決算）

	2015/4/21 設定日	2015/8/19 決算日	2016/8/19 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,928	9,516
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	−0.72%	−4.15%
純資産総額（百万円）	675	4,330	4,416

○安定プラン（年2回決算）

	2015/4/21 設定日	2015/8/19 決算日	2016/8/19 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,877	9,850
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	−1.23%	−0.27%
純資産総額（百万円）	266	1,748	2,249

○安定プラン（毎月決算）

	2015/4/21 設定日	2015/8/19 決算日	2016/8/19 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,851	9,519
期間分配金合計（税引前）（円）	—	25	300
分配金再投資基準価額騰落率	—	−1.24%	−0.27%
純資産総額（百万円）	413	1,895	2,852

■ 投資環境について

期初の市場は前期末までの下落から、中国元の安定した推移や、米国の堅調な経済指標、原油価格が上昇に転じたことなどを背景に反発する展開となりました。

3月は、概ね良好な経済指標や、欧米の中央銀行によるハト派（景気重視）的な姿勢などを背景に、株式やハイ・イールド債券などのリスク資産は概ね上昇しました。また、ボラティリティ（価格変動率）は急低下し長期平均を下回る水準となりました。月末にかけては、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長が追加利上げに対して慎重な姿勢を示しました。リスク資産のなかでも新興国株式は、米ドルの下落などもプラス材料となり、大幅に上昇する結果となりました。

4月の市場は、グローバル株式やハイ・イールド債券、グローバル社債など概ね緩やかな上昇となりました。また、市場で期待の高まっていた日銀の追加金融緩和が見送られたことなどから、円は米ドルに対して大きく上昇しました。

5月の市場は、6月に行われるFOMC（米連邦公開市場委員会）での政策金利の決定や英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票などを控えて神経質な展開となりました。投資家のリスク選好度は概ね低迷するなか、先進国株式市場（米ドルベース）は前月末とほぼ同じ水準となりました。一方、新興国市場は先進国市場に対して出遅れ、新興国通貨は米ドルに対して概ね下落する結果となりました。月半ばにかけて、地区連銀総裁によるタカ派（財政規律重視）的な発言が相次いだことなどから米国の早期利上げ観測が高まり、米国10年国債の利回りは、大きく上昇（価格は下落）する局面もありましたが、月間では小幅上昇となりました。

6月の市場は、英国のEU離脱を問う国民投票への懸念や、想定外のEU離脱派勝利を受けた欧州および世界の金融市場の混乱などを背景に不安定な展開となりました。英ポンドは米ドルに対して大幅に下落しました。一方、最終週には、英国国民投票の結果を受けた過度な懸念の後退や、世界的に更なる金融緩和への期待が広がったことなどから、リスク資産は若干回復する展開となりました。新興国株式は先進国株式のパフォーマンスを上回りました。また、5月の米雇用統計が軟調な結果となったことや、FRBのハト派的な姿勢、英国国民投票の結果などを受け、米国債の利回りは大幅に低下しました。

7月は、前月末のリスク資産反発の流れが概ね継続するとともに、英国のEU離脱決定を市場参加者が概ね消化したことから市場は落ち着きを取り戻しました。株式は、S&P500種株価指数が史上最高値を更新した米国をはじめ、日本やドイツなど多くの国および業種で上昇しました。債券は、良好な企業業績などを背景に、投資適格社債やハイ・イールド債券、新興国債券などが堅調な推移となりました。

期末にかけては、8月末のジャクソンホール講演でのイエレンFRB議長の利上げに関する発言を控え、先進国の株式や国債は概ね落ち着いた値動きとなりました。一方、原油価格上昇や世界的な低金利の下での投資家の利回り追求による需要などを背景に、新興国株式や新興国債券、ハイ・イールド債券などが7月に引き続き上昇しました。また、為替市場では現状維持を決定した7月末の日銀金融政策決定会合後の円高の流れが概ね継続しました。

■ ポートフォリオについて

<積極プラン（年2回決算）>

年金型投資戦略・積極マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざしました。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

<安定プラン（年2回決算）>

年金型投資戦略・安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざしました。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

<安定プラン（毎月決算）>

年金型投資戦略・安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざしました。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

<年金型投資戦略・積極マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。当期は、先進国株式（グローバル小型株式含む）や新興国株式、新興国債券の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。一方、外国為替市場で円高ドル安が進んだことなどが基準価額の下落要因となりました。

当期中の主な投資行動は、2月には、ファンダメンタルズに比べて割安な価格水準となった米国銀行株式を組入れました。5月から6月にかけては、短期的な収益機会として組み入れた米国銀行株式および日本株式の売却を行いました。また、8月には利益確定を目的としてインド株式の一部売却を行いました。為替ヘッジ比率は期を通じて純資産総額に対して概ね約6割から7割程度でした。

・組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、表示通貨ベース）

資産区分		ファンド名称	期末配分 比率	期間 騰落率
株式	先進国株式	ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	8.2%	11.12%
		ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	19.2%	13.89%
		i シェアーズ 米ドルヘッジ MSCI ユーロゾーン ETF	0.2%	8.49%
	グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ	8.2%	16.38%
	新興国株式	i シェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット IMI UCITS ETF	4.6%	24.55%
		i シェアーズ MSCI インディアETF	0.5%	22.45%
債券	先進国債券	ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ (為替ヘッジあり)	19.7%	5.22%
	ハイ・イールド債券	ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ	3.2%	14.86%
	新興国債券	ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	7.6%	16.31%
		ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	5.0%	17.30%
その他	ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	8.1%	3.28%
	インフラ	i シェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	3.0%	18.56%
	リート	SPDR® ダウ・ジョーンズ® REIT ETF	2.8%	19.94%
		SPDR® ダウ・ジョーンズ® インターナショナル・リアル・エステート ETF	1.0%	14.18%
現金等		ゴールドマン・サックス US\$ リキッド・リザーブズ・ファンド	0.3%	0.30%

(注1) 当期中、新規に組入れたファンドの期間騰落率は、年金型投資戦略・積極マザーファンドへの組入開始日から期末までの騰落率です。

(注2) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<年金型投資戦略・安定マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。当期は、先進国債券や先進国株式（グローバル小型株式含む）、新興国債券の組入れなどが基準価額の上昇要因となりました（米ドルベース）。一方、外国為替市場で円高ドル安が進んだことなどが基準価額の下落要因となりました。

当期中の主な投資行動は、2月には、ファンダメンタルズに比べて割安な価格水準となった米国銀行株式を組入れました。5月から6月にかけては、短期的な収益機会として組み入れた米国銀行株式および日本株式の売却を行いました。また、8月には利益確定を目的としてインド株式の一部売却を行いました。為替ヘッジ比率は期を通じて純資産総額に対して概ね約8割程度でした。

・組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、表示通貨ベース）

資産区分		ファンド名称	期末配分比率	期間騰落率
株式	先進国株式	ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	3.8%	11.12%
		ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	9.6%	13.89%
		i シェアーズ 米ドルヘッジ MSCI ユーロゾーン ETF	0.1%	8.49%
	グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE エクイティ・ポートフォリオ	3.8%	16.38%
	新興国株式	i シェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット IMI UCITS ETF	2.1%	24.55%
		i シェアーズ MSCI インディア ETF	0.3%	22.45%
債券	先進国債券	ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ（為替ヘッジあり）	51.3%	5.22%
	グローバル社債	ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ（為替ヘッジあり）	3.4%	9.31%
	ハイ・イールド債券	ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ	0.7%	14.86%
	新興国債券	ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	2.5%	16.31%
		ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	2.5%	17.30%
その他	ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	6.5%	3.28%
	インフラ	i シェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	1.9%	18.56%
	リート	SPDR® ダウ・ジョーンズ® REIT ETF	1.4%	19.94%
現金等		ゴールドマン・サックス US\$ リキッド・リザーブズ・ファンド	0.2%	0.30%

（注1）当期中、新規に組入れたファンドの期間騰落率は、年金型投資戦略・安定マザーファンドへの組入開始日から期末までの騰落率です。

（注2）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、積極プラン（年2回決算）および安定プラン（年2回決算）は第3期の分配は行わないこととしました。また、安定プラン（毎月決算）の第8期から第13期は各25円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○積極プラン（年2回決算）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 3 期	
	2016年2月20日～2016年8月19日	
当期分配金	—	
（対基準価額比率）	—	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	134	

○安定プラン（年2回決算）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 3 期	
	2016年2月20日～2016年8月19日	
当期分配金	—	
（対基準価額比率）	—	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	441	

○安定プラン（毎月決算）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 8 期	第 9 期	第 10 期	第 11 期	第 12 期	第 13 期
	2016年2月20日 ～2016年3月22日	2016年3月23日 ～2016年4月19日	2016年4月20日 ～2016年5月19日	2016年5月20日 ～2016年6月20日	2016年6月21日 ～2016年7月19日	2016年7月20日 ～2016年8月19日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.263	0.262	0.264	0.266	0.261	0.262
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	76	86	91	95	112	116

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<積極プラン（年2回決算）>

年金型投資戦略・積極マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざします。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

<安定プラン（年2回決算）>

年金型投資戦略・安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざします。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

<安定プラン（毎月決算）>

年金型投資戦略・安定マザーファンドを通じて、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（リート）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンド等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行い、資産価値の向上をめざします。ただし、上記すべての資産に投資するとは限りません。

<年金型投資戦略・積極マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

<年金型投資戦略・安定マザーファンド>

日本を含む世界のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券へ分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

お知らせ

約款変更について

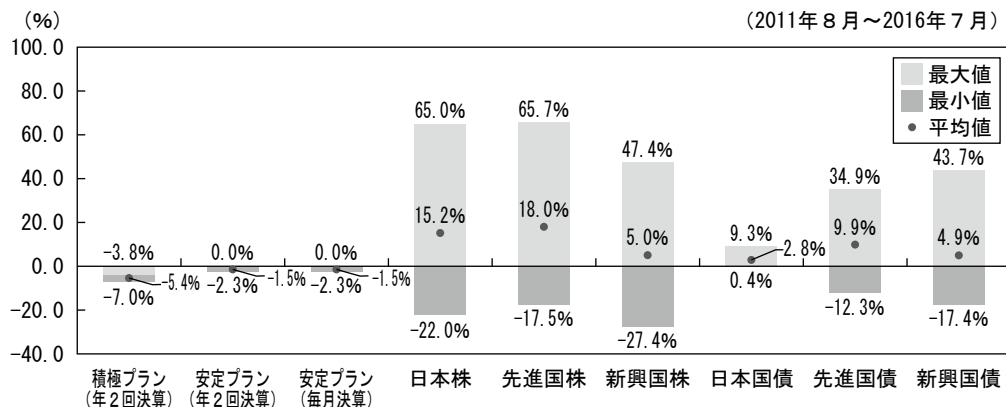
・当社を委託者とする他の投資信託約款の記載と平仄を揃えるための変更を行いました。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合				
信託期間	原則として無期限				
運用方針	グローバルの経済成長を収益の源泉とし、日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）およびヘッジファンドを含むオルタナティブ資産等のさまざまな資産および投資手法を活用する投資信託証券に分散投資を行います。 <積極プラン（年2回決算）>信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。 <安定プラン（年2回決算）／安定プラン（毎月決算）>信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。				
主要投資対象	<table border="1"> <tr> <td>本ファンド</td><td> <積極プラン（年2回決算）> 年金型投資戦略・積極マザーファンドの受益証券 <安定プラン（年2回決算）／安定プラン（毎月決算）> 年金型投資戦略・安定マザーファンドの受益証券 </td></tr> <tr> <td>年金型投資戦略・積極マザーファンド／年金型投資戦略・安定マザーファンド</td><td>投資信託証券</td></tr> </table>	本ファンド	<積極プラン（年2回決算）> 年金型投資戦略・積極マザーファンドの受益証券 <安定プラン（年2回決算）／安定プラン（毎月決算）> 年金型投資戦略・安定マザーファンドの受益証券	年金型投資戦略・積極マザーファンド／年金型投資戦略・安定マザーファンド	投資信託証券
本ファンド	<積極プラン（年2回決算）> 年金型投資戦略・積極マザーファンドの受益証券 <安定プラン（年2回決算）／安定プラン（毎月決算）> 年金型投資戦略・安定マザーファンドの受益証券				
年金型投資戦略・積極マザーファンド／年金型投資戦略・安定マザーファンド	投資信託証券				
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②実質外貨建資産については、投資判断により対円での為替ヘッジを行うことがあります。 ③本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・投資信託証券および外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式（投資信託証券を除きます。）への直接投資は行いません。				
分配方針	原則として毎計算期末（積極プラン（年2回決算）／安定プラン（年2回決算）は毎年2月19日および8月19日、安定プラン（毎月決算）は毎月19日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。				

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年8月から2016年7月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2015年4月21日）から1年後の2016年4月以降のデータを表示しています。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年8月19日現在）

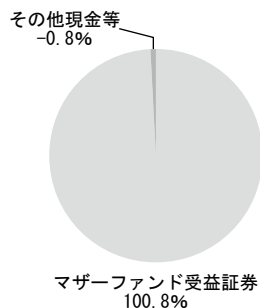
<積極プラン（年2回決算）>

○組入れファンド

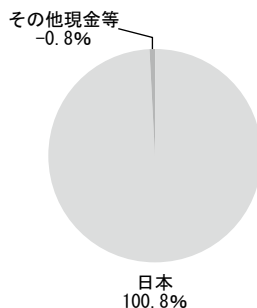
（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	比率
年金型投資戦略・積極マザーファンド	100.8%

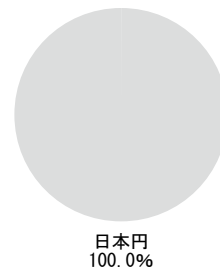
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て積極プラン（年2回決算）の純資産総額に対する割合です。

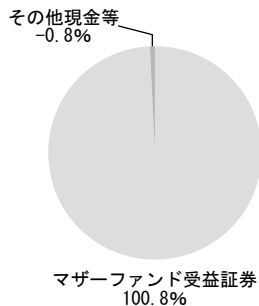
<安定プラン（年2回決算）>

○組入れファンド

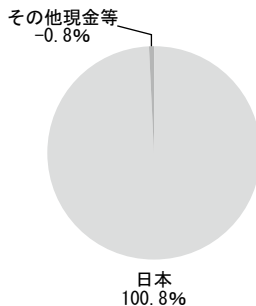
（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	比率
年金型投資戦略・安定マザーファンド	100.8%

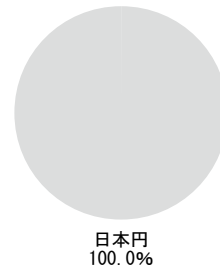
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て安定プラン（年2回決算）の純資産総額に対する割合です。

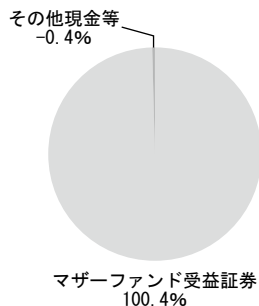
<安定プラン（毎月決算）>

○組入れファンド

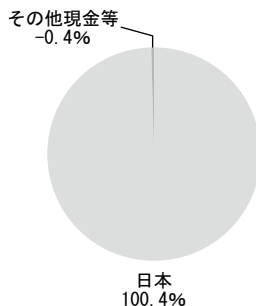
（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	比率
年金型投資戦略・安定マザーファンド	100.4%

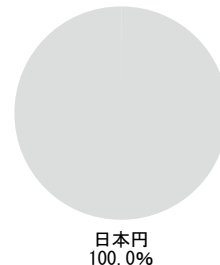
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て安定プラン（毎月決算）の純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

○積極プラン（年2回決算）

項目	第3期末
	2016年8月19日
純資産総額	4,416,458,267円
受益権総口数	4,641,028,722口
1万口当たり基準価額	9,516円

（注）期首元本額は4,914,785,110円、当作成期間中において、追加設定元本額は196,600,760円、同解約元本額は470,357,148円です。

○安定プラン（年2回決算）

項目	第3期末
	2016年8月19日
純資産総額	2,249,782,122円
受益権総口数	2,283,990,224口
1万口当たり基準価額	9,850円

（注）期首元本額は2,278,046,436円、当作成期間中において、追加設定元本額は278,907,286円、同解約元本額は272,963,498円です。

○安定プラン（毎月決算）

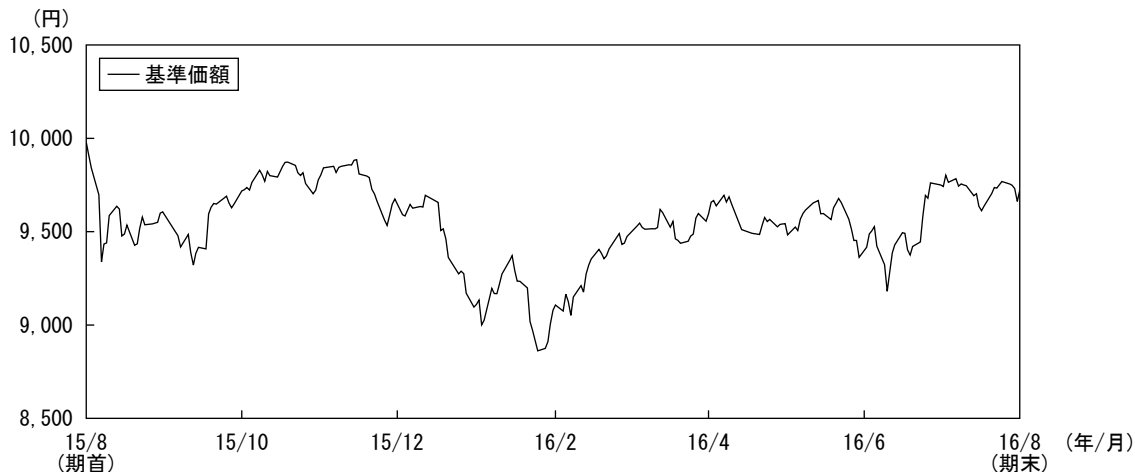
項目	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末	第13期末
	2016年3月22日	2016年4月19日	2016年5月19日	2016年6月20日	2016年7月19日	2016年8月19日
純資産総額	2,720,050,616円	2,765,907,911円	2,751,412,259円	2,792,289,521円	2,863,410,822円	2,852,757,365円
受益権総口数	2,866,522,431口	2,909,013,519口	2,910,549,965口	2,975,787,168口	2,997,006,898口	2,996,880,039口
1万口当たり基準価額	9,489円	9,508円	9,453円	9,383円	9,554円	9,519円

（注）当作成期首元本額は2,847,947,848円、当作成期間（第8期～第13期）中において、追加設定元本額は468,646,083円、同解約元本額は319,713,892円です。

■ 組入上位ファンドの概要

年金型投資戦略・積極マザーファンド（2016年8月19日現在）

○基準価額等の推移について（2015年8月20日～2016年8月19日）



（注）基準価額等の推移については年金型投資戦略・積極マザーファンドの直近の計算期間のものです。

○ 1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 （投資信託証券） （プライムブローカー）	0円 (0) (0)
有価証券取引税 （投資信託証券）	0 (0)
その他費用 （保管費用） （その他）	1 (1) (0)
合計	1

（注1）1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については5ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

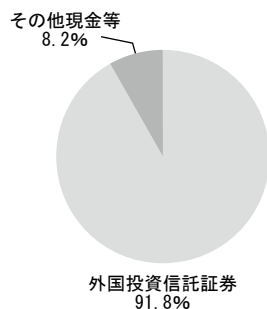
○組入上位ファンド

(組入銘柄数：15銘柄)

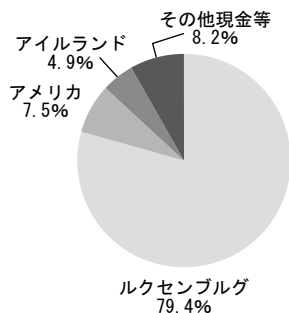
	ファンド名	比率
1	ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ (為替ヘッジあり)	19.7%
2	ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	19.2%
3	ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	8.2%

*組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

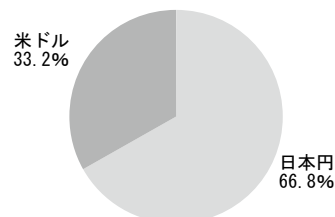
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

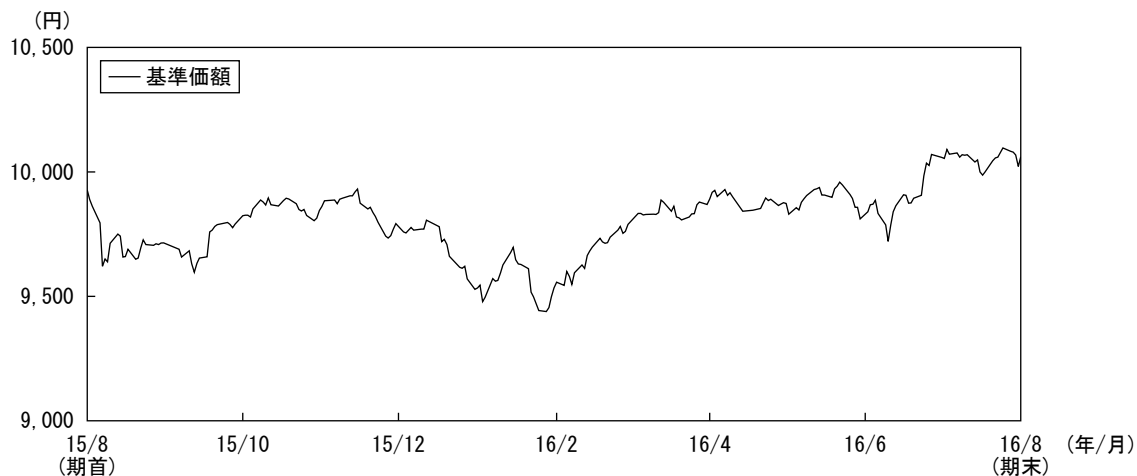


(注1) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは年金型投資戦略・積極マザーファンドの直近の決算日時点のものです。

(注2) 上記の比率は全て年金型投資戦略・積極マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

年金型投資戦略・安定マザーファンド（2016年8月19日現在）

○基準価額等の推移について（2015年8月20日～2016年8月19日）



（注）基準価額等の推移については年金型投資戦略・安定マザーファンドの直近の計算期間のものです。

○1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料	0円
（投資信託証券）	(0)
（プライムブローカー）	(0)
有価証券取引税	0
（投資信託証券）	(0)
その他費用	1
（保管費用）	(1)
（その他）	(0)
合計	1

（注1）1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については6ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

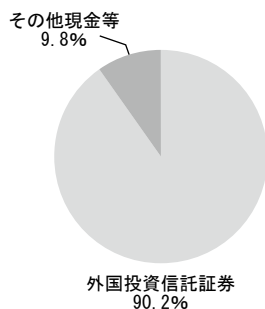
○組入上位ファンド

(組入銘柄数：15銘柄)

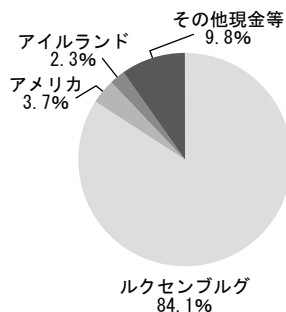
	ファンド名	比率
1	ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ (為替ヘッジあり)	51.3%
2	ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	9.6%
3	ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	6.5%

*組入全ファンドに関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

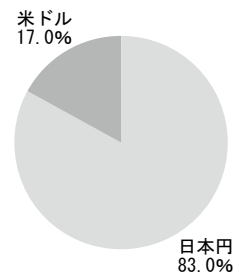
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは年金型投資戦略・安定マザーファンドの直近の決算日時点のものです。

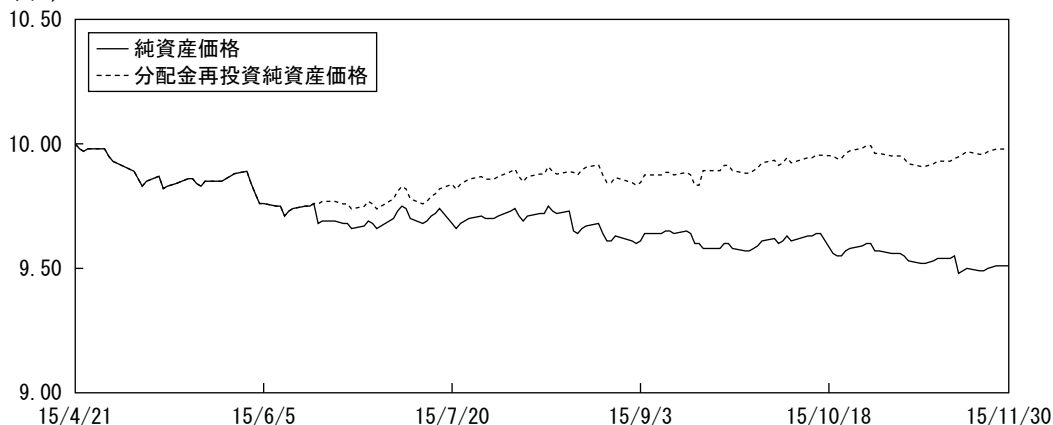
(注2) 上記の比率は全て年金型投資戦略・安定マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

＜ご参考＞年金型投資戦略・積極マザーファンドおよび安定マザーファンドの組入上位ファンドの概要
 ＜ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ（為替ヘッジあり）＞（2015年11月30日現在）

＊組入れファンドの決算は、年1回（毎年11月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格*等の推移について（2015年4月21日～2015年11月30日）

（米ドル）



＊I X Oシェアクラスの純資産価格

（注1）分配金再投資純資産価格は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金再投資純資産価格は、2015年4月21日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細（単位：ユーロ）

費用	
当座借越支払利息	2,123
投資顧問報酬	1,577,023
保管費用	186,404
管理事務代行報酬	123,453
販売報酬およびサービス報酬	4,642
名義書換事務代行報酬	50,041
年次税	184,761
監査報酬	19,887
管理会社報酬	145,841
取締役報酬	3,070
弁護士報酬	13,820
保険費用	15,805
印刷費用	19,141
出版費用	4,170
税務報告報酬	28,593
支払代理人報酬	14,520
規制報告報酬	14,049
その他費用	73,608
	2,480,951
投資顧問報酬調整額	(13,716)
固定報酬のクラスにかかる追加投資顧問報酬	27,554
費用合計	2,494,789

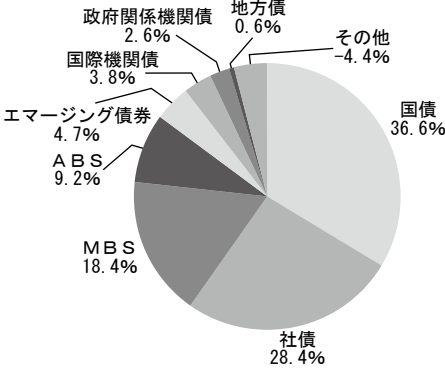
（注1）費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

（注2）費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

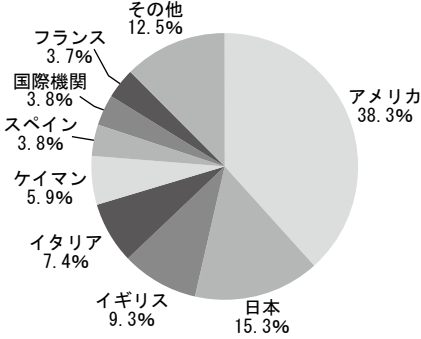
○債券特性値

最終利回り : 2.04%
デュレーション : 6.25年

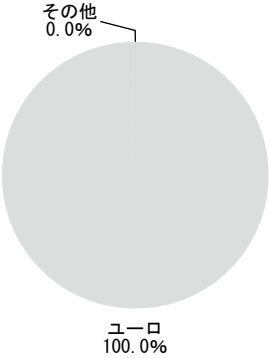
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 512銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	JAPANESE GOVT 5Y #110 0.3% 20 MAR 2018	国債	J P Y	4.0%
2	G2SF 4.00 01/17 TBA	MBS	U S D	3.3%
3	FNCL 4.00 12/16 TBA	MBS	U S D	2.9%
4	EUROPEAN STABILITY MECHANISM 0.1% 03 NOV 2020 REGS	国際機関債	E U R	2.6%
5	JAPANESE GOVT 10Y #330 0.8% 20 SEP 2023	国債	J P Y	2.4%
6	JAPANESE GOVT 10Y #310 1% 20 SEP 2020	国債	J P Y	2.1%
7	JAPANESE GOVT 20Y #150 1.4% 20 SEP 2034	国債	J P Y	1.9%
8	UK GOVT 2% 22 JUL 2020 REGS	国債	G B P	1.9%
9	SPANISH GOVT 4.5% 31 JAN 2018	国債	E U R	1.6%
10	FRENCH GOVT OAT 2.5% 25 OCT 2020 REGS	国債	E U R	1.5%

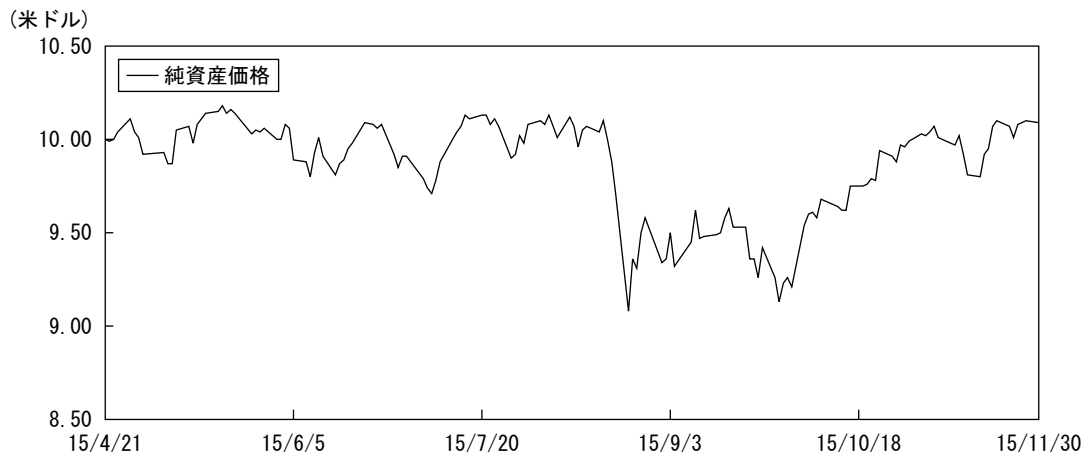
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ> (2015年11月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年11月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況を報告申し上げます。

○純資産価格*等の推移について（2015年4月21日～2015年11月30日）



* I Oアキュムレーション・スナップ・シェアクラスの純資産価格

○費用明細（単位：米ドル）

費用	
当座借越支払利息	1,459
投資顧問報酬	2,261,453
保管費用	134,517
管理事務代行報酬	153,764
販売報酬およびサービス報酬	359,291
名義書換事務代行報酬	83,835
年次税	106,526
監査報酬	9,219
管理会社報酬	88,845
取締役報酬	4,419
弁護士報酬	9,517
保険費用	2,492
印刷費用	17,593
出版費用	3,117
税務報告報酬	31,555
支払代理人報酬	15,976
規制報告報酬	17,432
その他費用	36,283
	3,337,293
投資顧問報酬調整額	(39)
固定報酬のクラスにかかる追加投資顧問報酬	58,896
費用合計	
	3,396,150

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

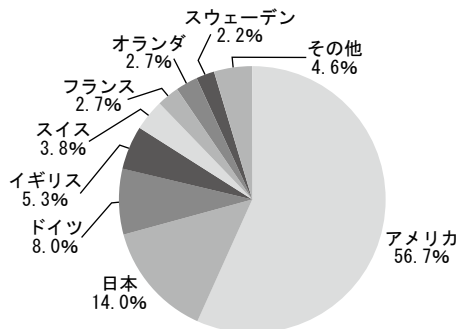
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

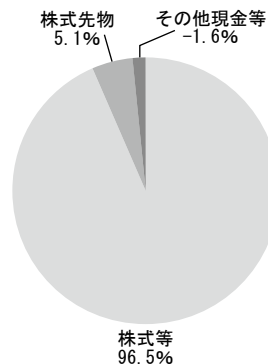
(組入銘柄数：307銘柄)

	銘柄	国	比率
1	APPLE INC.	アメリカ	2.4%
2	TOYOTA MOTOR CORPORATION	日本	1.4%
3	PFIZER INC.	アメリカ	1.3%
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	1.3%
5	THE HOME DEPOT, INC.	アメリカ	1.2%
6	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	1.2%
7	DEUTSCHE TELEKOM AG	ドイツ	1.1%
8	VERIZON COMMUNICATIONS INC.	アメリカ	1.1%
9	PEPSICO INC	アメリカ	1.1%
10	COMCAST CORPORATION	アメリカ	1.1%

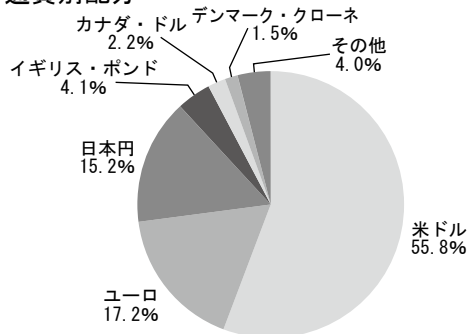
○国別配分



○資産別配分



○通貨別配分



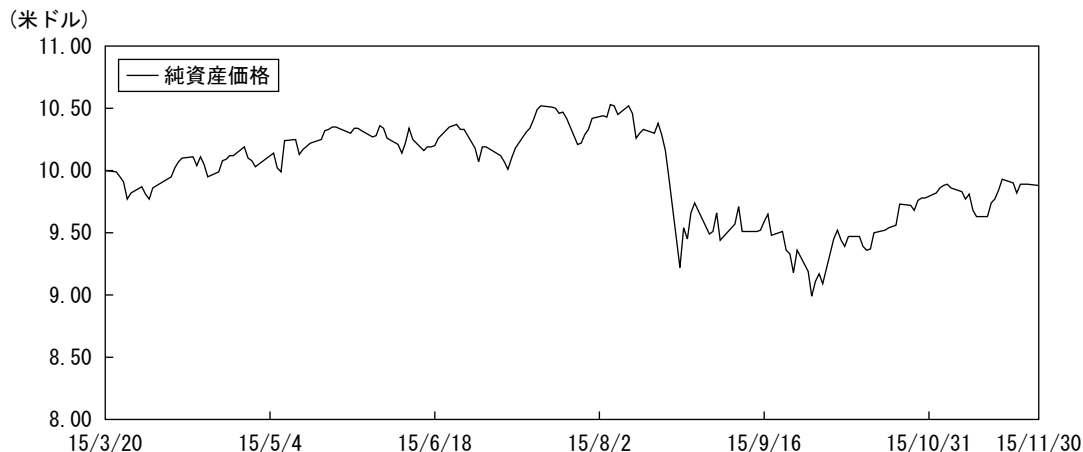
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ> (2015年11月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年11月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格*等の推移について (2015年3月20日～2015年11月30日)



* I Oアキュムレーション・シェアクラスの純資産価格

○費用明細 (単位：米ドル)

費用	
当座借越支払利息	1,055
投資顧問報酬	7,687,451
保管費用	94,278
管理事務代行報酬	204,861
販売報酬およびサービシング報酬	134,954
名義書換事務代行報酬	87,155
年次税	283,207
監査報酬	9,219
管理会社報酬	237,428
取締役報酬	5,493
弁護士報酬	18,343
保険費用	27,290
印刷費用	35,897
出版費用	3,730
税務報告報酬	30,224
支払代理人報酬	21,045
規制報告報酬	16,627
その他費用	59,894
	8,958,151
固定報酬のクラスにかかる追加投資顧問報酬	547,712
費用合計	
	9,505,863

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

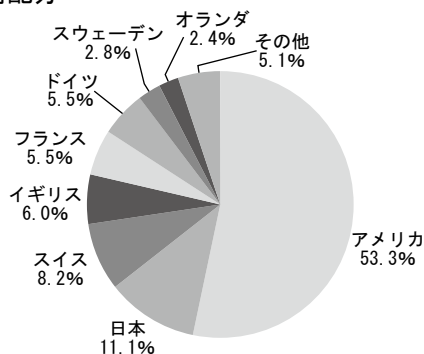
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

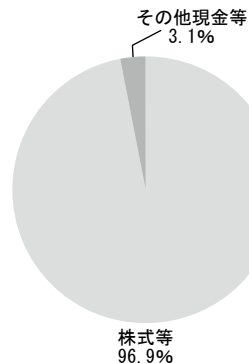
(組入銘柄数：35銘柄)

	銘柄	国	比率
1	WOLSELEY PLC	イギリス	4.4%
2	ABBOTT LABORATORIES	アメリカ	4.3%
3	YUM BRANDS, INC.	アメリカ	4.3%
4	AMERICAN TOWER CORPORATION	アメリカ	4.1%
5	INTERCONTINENTAL EXCHANGE INC	アメリカ	4.1%
6	NORTHERN TRUST CORP	アメリカ	4.0%
7	MITSUBISHI ESTATE	日本	3.9%
8	EMC CORPORATION MASS	アメリカ	3.6%
9	SYNGENTA AG	スイス	3.3%
10	BEIERSDORF AG	ドイツ	3.3%

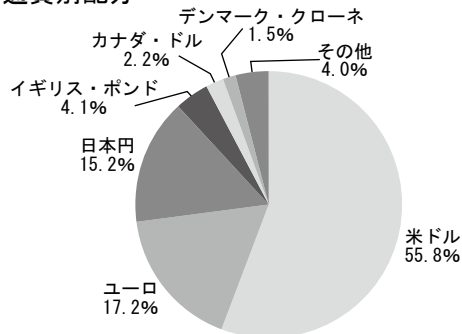
○国別配分



○資産別配分



○通貨別配分



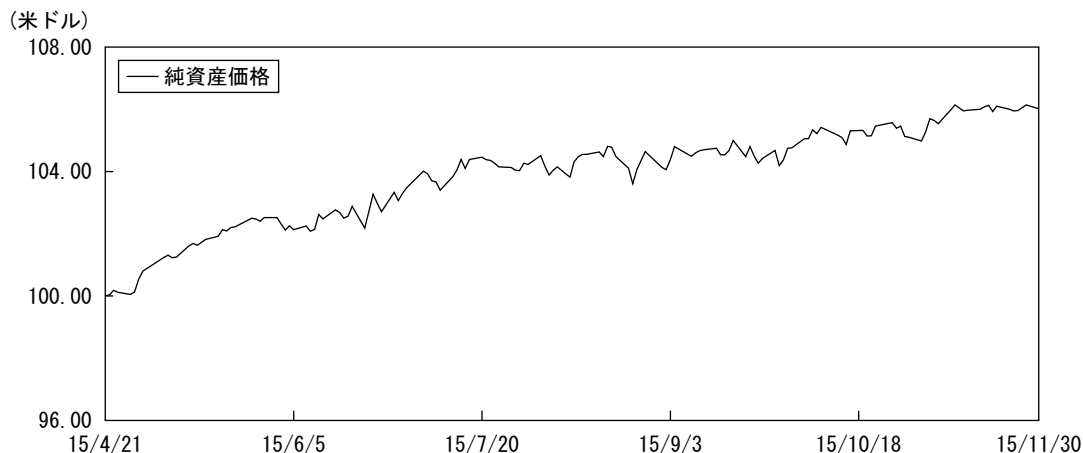
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ> (2015年11月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年11月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況を報告申し上げます。

○純資産価格*等の推移について（2015年4月21日～2015年11月30日）



* I Oアキュムレーション・シェアクラスの純資産価格

○費用明細（単位：米ドル）

費用	
当座借越支払利息	709
スワップ契約にかかる支払利息	221,090
投資顧問報酬	1,378,166
成功報酬	885,931
保管費用	413,606
管理事務代行報酬	99,870
販売報酬およびサービシング報酬	1,137
名義書換事務代行報酬	48,613
年次税	37,732
監査報酬	19,388
管理会社報酬	30,231
取締役報酬	1,551
弁護士報酬	37,223
印刷費用	5,704
出版費用	3,927
税務報告報酬	31,317
支払代理人報酬	14,709
規制報告報酬	20,793
その他費用	65,750
	3,317,447
投資顧問報酬調整額	(264,116)
固定報酬のクラスにかかる投資顧問報酬調整額	(12,575)
費用合計	3,040,756

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

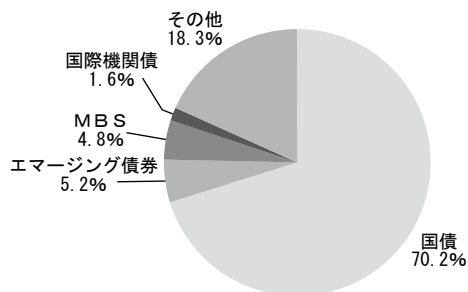
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○債券特性値

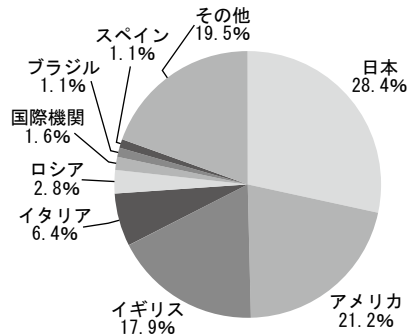
最終利回り : -0.80%

デュレーション : 1.52年

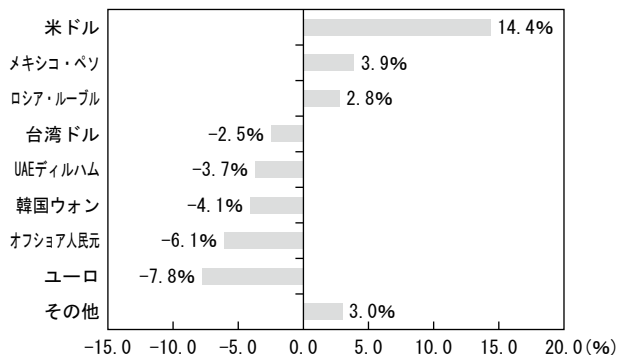
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 76銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	UK GOVT 4.75% 07 DEC 2030	国債	GBP	17.9%
2	JAPANESE GOVT T-BILL #566 01 FEB 2016	国債	JPY	8.9%
3	US GOVT TIPS 0.125% 15 APR 2017	国債	USD	7.4%
4	JAPANESE GOVT 2Y #346 0.1% 15 NOV 2016	国債	JPY	6.2%
5	JAPANESE GOVT 2Y #350 0.1% 15 MAR 2017	国債	JPY	5.0%
6	JAPANESE GOVT 2Y #349 0.1% 15 FEB 2017	国債	JPY	4.4%
7	JAPANESE GOVT 5Y #104 0.2% 20 MAR 2017	国債	JPY	3.9%
8	US GOVT 0.375% 31 MAY 2016	国債	USD	2.2%
9	US GOVT 3% 15 NOV 2044	国債	USD	1.8%
10	RUSSIAN GOVT 8.15% 03 FEB 2027	エマージング債券	RUB	1.7%

(注1) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 通貨別配分は、基本配分(米ドル100%)からの乖離を示しています。したがって、米ドルについては基本配分との合計が実際のポジションとなります。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。